

MIGLYOL® 829 MIGLYOL® 829 ECO

ECOのみ100%植物由来

化粧品による芸術



OLEOCHEMICALS

PERSONAL CARE

IOI Oleo GmbH



綿半トレーディング株式会社

東京都新宿区四谷1-4 綿半野原ビル

TEL. 03-3353-2303 FAX. 03-3353-2545

MIGLYOL[®] 829/ECO

INCI名: Caprylic/Capric/Succinic Triglyceride
表示名称: (カプリル酸/カプリン酸/コハク酸)トリグリセリル
外原規2006収載名: コハク酸ジ(カプリル/カプリン酸)グリセリル
中国INCI名: 辛酸/癸酸/琥珀酸甘油三酯
※コハク酸により結合した中鎖脂肪酸トリグリセリド

2相製品への理想的なエモリエント

MIGLYOL[®] 829は 植物性脂肪酸から分画されたC8及びC10のグリセリンエステルであり、コハク酸により結合されています。粘度は約230 mPa·s。水と油は通常2つの異なる比重性質のため相分離が発生しますが、MIGLYOL[®] 829 は1.00-1.02 g/cm³という水より重い比重のため、エマルションの安定性を改善します。

また、MIGLYOL[®] 829の比重が水より重い特性を利用して、オイルが処方中に浮遊する安定性のある2相コンセプト処方も作ることができます。(右の写真及び“Hydra Splash”の処方参照。)

特長

- わずかな臭い/味
- 少ない乳化剤で安定処方が可能
- 無色透明の液体油
- コンセプトを“見る”ことができる
- 高い抗酸化性
- コールド・プロセス生産可能
- 0°C下でも液状
- 水になじみやすい
- 2相コンセプトの処方
- べたつかない感触
- 優れた可溶性
- 優れた分散性



物性

- 素肌上での高い持続力
- 高い抗酸化性及び熱に対する安定性
- 高分子シリコンオイルとミネラル油の代替
- 水より重い比重 1.00-1.02g/cm³
- 屈折率 20°C 1.456-1.459
- 高比重の油で低粘度エマルションの分離を防ぐ
- コハク酸により溶けにくい油を抱き込み安定させる

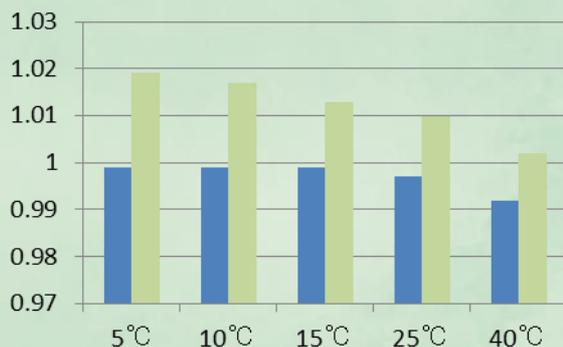
溶解性

- N-ヘキサン
 - トルエン
 - ジエチルエーテル
 - 酢酸エチル
 - アセトン
 - イソプロパノールエタノール
- (※20°Cで96%可溶)

アプリケーション

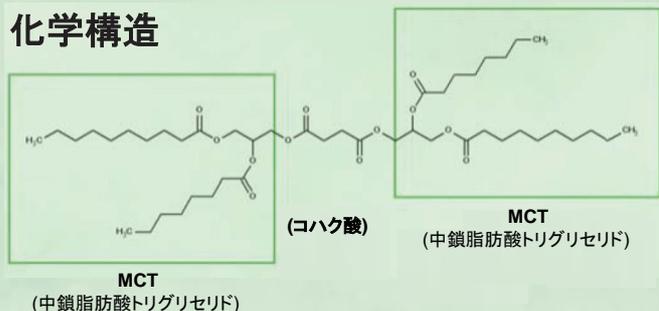
- メイクアップ化粧品
- ボディケア
- スキンケア
- ヘアケア
- サンケア

MIGLYOL[®] 829と水における比重の比較



※緑: MIGLYOL[®] 829 青: 水

化学構造



CDM試験結果 4.5時間(120°C) ※基準油脂分析試験法

化粧品による芸術

化粧品のマーケティングはそれ自体が一つの芸術となります。異なる特徴をもつ化粧品に消費者は引き付けられます。消費者の選択肢の重要な要素となるものは多岐にわたります。その一つに“ブランド”があげられます。消費者はブランドを信頼し、あるいはそのブランドのイメージを信用しています、そして、消費者はブランドの高級な雰囲気を求めます。

他にも、化粧品の“研究結果”及び“有効成分”は皮膚への直接的な効果として、製品特長に寄与します。これは、消費者が皮膚への効果を実感するという点において、商品が成功する重要な要素の一つです(例:シワ、にきび、体臭の減少・改善、etc)。

近年では、“環境に配慮した持続性”(グリーンサステナブルケミストリー)もパーソナルケア商品において注目の単語となっております。

EcocertやRSPOあるいは〇〇Freeという文言や証明は全て、消費者のそうした環境に対する関心を対象としたマーケティングになります。

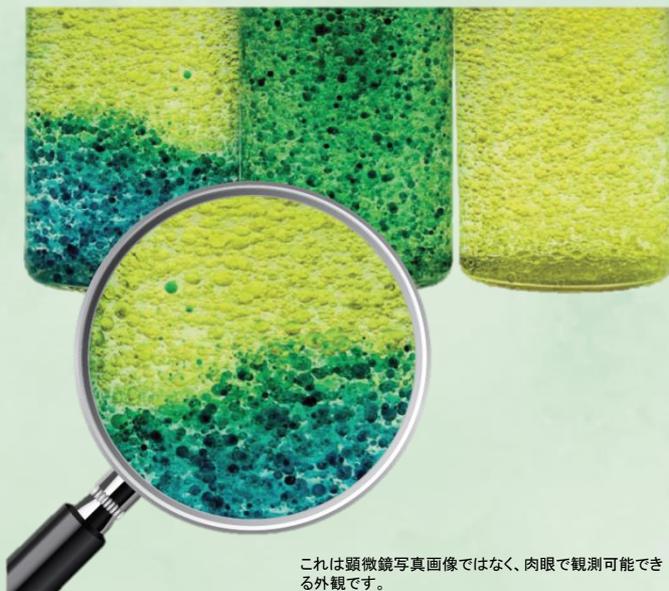
また、“価格”も忘れてはいけません。商品は消費者に高級な感覚を与えつつ、お手頃な値段でなければなりません。

最後に、化粧品のマーケティングにおいて無視してはならない重要な要素があります。それは“外観”です。外観は私たちが最初に知覚するものであり、第一印象を形成するものです。外観によって商品そのものを多様に伝えることが可能です。美しさとはまず消費者の視覚から始まります。

MIGLYOL® 829であれば画期的な外観を作ることができます。

MIGLYOL® 829は化粧品処方 of 新たな扉を開きます。海のようなリラックスできる処方から情熱的な処方コンセプトまで幅広くご使用できます。オイル相と水相は着色が可能です。右上の写真の、油滴が優雅に水相の中で浮かんでいるのをご覧下さい。こちらは太陽に当たった際、油滴が処方中で美しく反射している様子をお楽しみ頂けるでしょう。IOIでは容器にポンプディスペンサーを使用しており、また処方安定性の確認をとっています。是非皮膚へのリフレッシュな感触をご堪能下さい。

芸術も化粧品も感情を表現する産業として知られています。MIGLYOL® 829はそれら両方を結びつける機会を提供します。処方研究者を芸術家にさせ、消費者の願望またはブランドの位置づけに沿った上でユニークな処方を可能にさせます。MIGLYOL® 829は全ての製品を小さな芸術へと変貌させるのです。



これは顕微鏡写真画像ではなく、肉眼で観測可能できる外観です。

MIGLYOL® 829を使用した処方例



MIGLYOL® 829の濃度は左から順に2.5/5/7.5%
(829は青色に着色されています)

MIGLYOL® 829の処方例



スキンケア



バス&マッサージオイル



エマルジョン



ヘアケア

処方

Hydra Splash – 2-Phase Skin Refreshing Tonic No. 724

相	製品名	INCI名	量(%)
A	Freda® Hyaluronic Acid	ヒアルロン酸Na	0.3
B	Aqua dem.	水	ad.100.0
C	Ketrol® CG-T	キサンタンガム	0.5
D	Euxyl® K 700	フェノキシエタノール、ベンジルアルコール、ソルビン酸K、水、トコフェロール	1
E	Color		q.s.
F	MIGLYOL® 829	(カプリル酸/カプリン酸/コハク酸)トリグリセリル	5.0
F	Tocopherol	トコフェロール	0.5
F	Parfum	香料	q.s.

処方案内:

手順:

1. 室温でこの処方を準備する。
2. A相をB相に溶かす。
3. C相+D相を加えホモミキサーにかける。
4. E相をF相に加え混ぜる。
5. F相を処方に優しくかき混ぜながら加える。

規格:

粘度 (20°C), 油相のない純粋なゲル:

min. 4000 mPa·s [500–600 mPA·s]

せん断速度: 1 s-1 [10 s-1] Malvern Kinexusを使用。40 mm cone/plate

安定性: 20°C及び40°Cで安定性試験済。50°Cでの2週間の経過試験クリア

pH: 5,5–7,5

外観: 透明

Cleansing Oil (WHT-M829-CO02)

相	製品名	表示名称	量(%)
A	SOFTISAN® PG2 C10	カプリル酸ポリグリセリル-2	14.0
A	IMWITOR® PG4 Cocoate	ヤシ油脂肪酸ポリグリセリル-4	4.0
A	MIGLYOL® 812	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル	27.3
A	MIGLYOL® 829 ECO	(カプリル酸/カプリン酸/コハク酸)トリグリセリル	20.0
A	MIGLYOL® Coco 810	(カプリル酸/カプリン酸)ヤシアルキル	15.0
A	MIGLYOL® TC-7	トリヘプタノイン	15.0
A	ホホバール	ホホバ油	2.0
A	オーガニックマルラオイル	スクレロカリアビレア種子油	2.0
A	SOFTISAN GC8	カプリル酸グリセリル	0.2
A	フェノキシエタノール	フェノキシエタノール	0.5

処方案内:

手順:

1. A相を秤取り、70°Cに加熱し、溶解させる。
2. 攪拌しながら冷却する。

この情報はIOI Oleo GmbHが直接的または暗示的に製品が商業的である、あるいは特定の目的に対し有益であると示唆及び保障するものではなく、またこの資料における製品は他社の知的財産権を侵害せず使用出来得ると保障するものでもありません。この資料における情報は公式販売規約&条件の一部に相当するものではありません。